

<事務局報告>

事務局報告

1. 行事報告

(1) 第37回研究大会報告

2022年12月3日(土)4日(日)、国際公共経済学会第37回研究大会が開催され(主催校:福山大学)、盛会のうちに終わりました。

「SDGsやカーボンニュートラル目標に向けての課題と展望」のテーマのもと、以下の講演・パネルディスカッションが開催されました。

基調講演 <福山大学経済学部「経済学研究会」共催企画>

「ひろぎんグループにおけるSDGs・カーボンニュートラルへの取組と地域企業への支援の現状と課題」

YouTube 動画: <https://youtu.be/ZL-CI5NGMM>

パネルディスカッションI「SDGS・カーボンニュートラル取り組みに向けた地域の取り組み支援の現状と課題を探る」

YouTube 動画: <https://youtu.be/xi62d0eWK8g>

パネルディスカッションII「ソーシャルエコノミー研究の現在地と今後の展望」

YouTube 動画: <https://youtu.be/ZFkoe3LEzeQ>

パネルディスカッションIII「デジタル政策とアカデミズム」

YouTube 動画: <https://youtu.be/T1N04UxsZGE>

(2) 第11回春季大会報告

2023年3月4日(土)、国際公共経済学会第11回春季大会が開催され(主催校:兵庫県立大学)、「電気料金高騰への対応」のテーマのもと、盛況のうちに大会を終えました。

基調講演1

「電気料金の高騰とその対応について」

東 哲也(経済産業省電力・ガス取引監視等委員会 取引制度企画室長)

基調講演2

「電力改革による競争が招いた弊害と求められる今後の政策」

野村 宗訓(国際公共経済学会 前会長 関西学院大学経済学部教授)

パネルディスカッション「電気料金高騰への対応」
討論者:

内山 正人(電源開発株式会社 顧問)

パネリスト:

中村 稔(兵庫県立大学政策科学研究所特任教授)

石崎 隆(株式会社東京商品取引所代表取締役社長)

高井 裕之(EEXグループ日本代表)

土方 薫(東北電力株式会社常務執行役員)

YouTube 動画: <https://youtu.be/sZKu7SEb63c>

(3) 次世代研究部会・第7回サマースクール

日時:2023年9月2日(土)

会場:大谷大学本部キャンパス

基調講演「AIと社会」

講演者:柴田 悠(京都大学大学院人間・環境学研究科 教授) 一般報告3本が行われました。

2. 学会4賞の決定

第31回学会賞

応募者なし

第23回尾上賞

応募者なし

第14回奨励賞

小菅 謙次(大阪公立大学大学院都市経営研究科博士後期課程)

「地域公共交通の課題解決のための自動運転システム導入の可能性—経済的持続可能性の考察から—」

伊藤 将人(一橋大学社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程)

「地方自治体による政策的移住促進の誕生と展開—熊本県におけるUターン政策とテクノポリス構想に着目して—」

第 15 回修士論文賞

JIN WEN (最優秀) (東京工業大学大学院 環境・社会理工学院 社会・人間科学系)

「コロナ対策と関連したオンラインの誹謗中傷対策とその現状に関する研究 ―政府と都道府県を中心に」

3. 学会4賞について

本学会には4つの学会賞があります。以下を参照の上、奮ってご応募ください。提出先は、いずれも学会事務局です。

(1) 学会賞

- ・対象：若手研究者の学術書・研究書（一般書、新書類は対象外）とくに年齢制限は設けていませんが、著書等の刊行歴があまりない会員の方
- ・対象期間：2021年7月1日～2023年6月30日までに公刊された会員による著書等
- ・応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送りください。

(2) 尾上賞

- ・対象：既に実績を有する研究者の学術的研究等（学術書、研究書、一般書などの著書、および顕著な学会活動など）
- ・対象期間：2021年7月1日～2023年6月30日までに公刊された会員による著書等
- ・応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送りください。

(3) 奨励賞

大学院生（修士課程・博士課程）の発表について、数点に「奨励賞」を授与します。大学院生は、研究大会発表に際して、この賞への応募が前提になります。

- ・応募資格：大学院修士課程・博士課程及びそれに準ずる者
- ・提出論文：本会投稿規定・要領による12,000字のフルペーパー3部
- ・締め切り：2023年8月31日
- ・審査発表：2023年9月30日までに事前審査による学会報告の可否を、本人に通知（報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます。論文締切まで日数がないので早めにご用意ください）

・論文締切：2023年10月11日

(4) 修士論文賞

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。

2023年度提出（含む前年、前前年度提出者）の修士論文が対象となります。募集等の詳しい内容は後日お知らせいたします。

4. 第38回研究大会 [12月2日(土)、3日(日)] iU (情報経営イノベーション専門職大学) のお知らせ

(1) 大会趣旨

大会テーマ：「コロナ、ウクライナ、その次の試練」

この数年、世界はコロナとウクライナ、2つの試練に立ち向かってきた。

ウイルスは人命を脅かし、経済を壊す一方、テレワークや遠隔教育などDXを推し進めた。14世紀のペストはルネサンスを生んだ遠因とされるが、21世紀の疫病は何かを生むのか。

ロシアが起こした紛争は、近代国家がなお領土を求めて歩兵戦を繰り返して広げつつ、サイバー攻撃や偽情報などデジタル戦も絡み合う。21世紀の戦争は何を遺すのか。

コロナとウクライナ。自然と人工のダブル試練は、前後の時代を画する事件である。

これらを乗り越えた先、どのような変化があるのか。発展し、成長し、大きくなるものもあろう。衰退し、封じられ、小さくなるものもあろう。どう対応すべきか。さらに待つ試練はあるのか。そして、公共経済学が向き合う課題は何か。

ダイナミックに考える機会としたい。

第38回研究大会実行委員長

中村伊知哉 (iU (情報経営イノベーション専門職大学))

(2) 大会開催要領

日程：2023年12月2日(土)・3日(日)

テーマ：「コロナ、ウクライナ、その次の試練」

会場：iU (情報経営イノベーション専門職大学)

実行委員長：中村伊知哉 (iU (情報経営イノベーション専門職大学))

(3) 大会プログラム (案) : 調整中

(最新の情報は学会 HP をご参照ください)

5. 年会費納入について

当学会は、2022年12月1日より新年度に入りました。

つきましては、2023年度(2022年12月1日～2023年11月30日)の個人会費10,000円(大学院生は会費5,000円)を、御納入お願いいたします。

会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

なお、学会DX化にむけて、これまで紙媒体で発行しておりましたニューズレターを、学会メーリングリストにてご送付(PDF形式)および学会Webページ掲載へと変更しております。これに伴い、ニューズレターに同封しておりました会費払込票の郵送も取りやめておりますので、払込票・領収書等が必要な方は事務局(office@ciriec.jp)までお知らせください。

別途、郵送させていただきます。

【振込先口座】

振込先：ゆうちょ銀行

口座記号番号：00800-7-216415

口座名称：国際公共経済学会

【他金融機関からのお振込】

店名(店番)：ゆうちょ銀行 ○八九店(089)

預金種目：当座

口座番号：0216415

口座名義：国際公共経済学会

6. 学会誌投稿規定・執筆要領**『国際公共経済研究』投稿規定**

(1) 『国際公共経済研究』は、「査読付き論文」、「研究ノート」、「図書紹介」、「随筆」等の投稿を受け付けています。なお「査読付き論文」、「研究ノート」は、以下の論文執筆要領に従って執筆してください。

(2) 『国際公共経済研究』に掲載されるすべての文書

の著作権は、原則として本会に帰属するものとします。ただし著作者が、掲載された文書を他の著作物に収録・転用する場合には、メール(office@ciriec.jp)にて事務局に通知を行い、本会の許諾を得るものとします。原則として、申し出について、すべて無償で許諾することといたします。

(3) 『国際公共経済研究』に投稿する文書は、ニューズレターなどで告知した内容に従い、郵送、メールで提出することとします。学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。返信のない方は、事務局までお問い合わせください。

(4) 自由論題論文を投稿するには、毎年12月の研究大会、3月の春季大会、部会での報告が必須条件となります。

『国際公共経済研究』論文執筆要領

(1) 本誌は、年1回以上刊行し、その都度論文等をニューズレター等で公募する。

(2) 投稿は、正会員、および特別会員の法人に所属する者、および編集委員会が適当と認めた者に限り認める。また、研究大会報告者には、投稿をお願いする。

(3) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。

(4) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。

(5) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。

(6) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。

(7) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。

(8) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。

(9) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。著書(単独)の場合

執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ペー

ジ

著書（複数）の場合

執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、
出版社、引用ページ

論文の場合

執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、
引用ページ

- (10) 投稿原稿の採否は、編集委員会の下におかれる論文審査制度に基づいて行う。
- (11) 論文の他、書評、図書紹介等についても投稿を受け付ける。
- (12) 論文等は、学会事務局宛、郵送、メールにて投稿する。事務局より1週間以内に受領を確認した旨のメールをお送りします。返信のない方は事務局までお問い合わせください。

学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載していますので、適宜ご参照ください。